

生駒市景観形成ガイドプランの基本方針	景観区分	具体的な景観要素 (既往計画で挙げられているもの)、	具体的な景観要素 アンケート結果等	場所
① 緑が映える「自然景観」を保全しつつ活用を図る	山麓・丘陵景観	生駒山系 矢田丘陵 西の京丘陵		自然景観区域
	水辺景観	富雄川 竜田川 竜田川（曲ヶ淵）	くろんど池、高山溜池、	自然景観区域 田園景観区域 市街地景観区域
② ふるさと感じさせる「田園・文化景観」を形成する	田園景観	高山田園集落 北田原田園集落、	棚田（西畑地区）	田園景観区域
	近郊緑地景観	田園集落地の中に点在する寺社林や斜面緑地など	屋敷林	田園景観区域 市街地景観区域
	歴史文化景観	暗越奈良街道 茶釜の里（高山地区） 宝山寺 長弓寺	円証寺、長福寺、往馬大社、円福寺、宝幢寺、往馬大社、高山八幡宮	自然景観区域 田園景観区域 市街地区域
③ うるおいとにぎわいのある「都市的景観」をつくる	住宅地景観	鹿ノ台、北大和、白庭台、生駒台、光陽台、俵口南条、緑ヶ丘東、萩の台、さつき台2丁目、東山住宅	地区計画適用住宅地	市街地景観区域
	拠点地区景観	生駒駅、東生駒駅 南生駒駅、東山駅、学研都市	けいはんな新駅	市街地景観区域
	沿道景観		奈良県景観計画の広域幹線沿道区域（国道168号、国道163号、阪奈道路、枚方大和郡山線）	市街地景観区域 田園景観区域 自然景観区域
	都市施設景観		市役所、北コミュニティーセンター「はばたき」、南コミュニティーセンター「せせらぎ」	市街地景観区域 田園景観区域

【 地 区 計 画 】

○地区計画とは

都市計画法や建築基準法は、まち全体から秩序あるまちづくりを行うため、基本的な土地利用の制限や誘導を行ったり、宅地や建築物の制限を行うものであります。一方、地区計画制度は、地域の環境保全や整備などより身近なまちのルールを定めるものであり、既存の法規制を前提に地区住民の意見を反映しながら、地域と行政が一体となって定める地域の特性を活かしたきめ細かなまちづくりであります。

本市では、これまで21の地区について地区計画を導入しています。

地区計画の指定状況

平成21年12月4日現在

地 区 名 称	地区計画 区域面積	計画戸数	用途地域 従 後	地 区 計 画 の ね ら い
1 北大和	約 57.7 ha	約 1300 戸	1低 1中 1中 2中 1住 近商	良好な住環境の形成
2 白庭台	約 63.6 ha	約 2000 戸	1低 1中 近商	良好な住環境の形成
3 鹿ノ台	約 122.1 ha	約 2400 戸	1低 1中 近商	良好な住環境の形成
4 高山学研	約 45.0 ha	—	準工	良好な教育研究機関の確保
5 俵口南条	約 1.2 ha	約 160 戸	1住	良好な住環境の形成
6 緑ヶ丘東	約 2.2 ha	約 250 戸	1住	良好な住環境の形成
7 壱分・小瀬町、第2阪奈	約 2.2 ha	約 430 戸	1住	良好な住環境の形成
8 萩の台東	約 1.7 ha	約 110 戸	1住	良好な住環境の形成
9 さつき台2丁目	約 14.8 ha	約 360 戸	1低 近商	良好な住環境の形成
10 生駒台	約 28.2 ha	約 520 戸	1低 1住	良好な住環境の形成
11 光陽台	約 10.8 ha	約 230 戸	1低	良好な住環境の形成
12 東山	約 7.1 ha	約 120 戸	1低 1中 近商	良好な住環境の形成
13 西白庭台	約 33.9 ha	約 800 戸	1低 1中 1住	良好な住環境の形成
14 南山手台	約 7.1 ha	約 160 戸	1低 2低	良好な住環境の形成
15 近畿大学病院	約 19.5 ha	—	1中	良好な医療施設地区の形成
16 都市計画道路菜畑乙田線沿道	約 1.3 ha	—	1住	日常生活の利便性に資する良好な沿道地域の形成
17 近鉄東生駒車庫	約 3.1 ha	—	準工	鉄道施設としての適切な土地利用と周辺の住環境の保全
18 学研奈良登美ヶ丘駅前	約 20.2 ha	約 340 戸	1低 1住 近商 商業	健全な商業、業務地としての育成。 良好な都市環境の形成。
19 美鹿の台	約 12.6 ha	約 350 戸	1中 1住	良好な住環境の形成
20 上町台	約 6.9 ha	約 250 戸	1低 1住	良好な住環境の形成
21 東生駒1丁目	約 12.2 ha	約 220 戸	1低 1中高	良好な住環境の保全